

報道関係者各位(企業情報)

2016年(平成28年)8月16日

横浜市水道局に「健康増進プログラム」展開 神奈川県下で初 自治体等へさらに拡大

株式会社ファンケルヘルスサイエンスは、企業や団体の従業員の健康管理を行う「ファンケル健康増進プログラム」を横浜市水道局の職員向けに8月24日(水)から展開します。

同局の職員のうち、肥満傾向のある方を対象にセミナー等を実施。体重、体脂肪率、腹囲、血圧などの基礎データを計測し、当社の健康カウンセラーがその人に合った食事・運動・休息など様々なアドバイスをします。プログラムは12月まで継続して行い、その後、結果を検証します。自治体との取り組みは、多摩市に続いて2例目で、神奈川県下では初です。当社では今後も自治体や企業にプログラムの導入を提案していきます。



「横浜市水道局職員ヘルスアッププロジェクト」概要

今回のプログラムは、横浜市水道局の職員向けの「ヘルスアッププロジェクト」として行うもので、同局の職員のうち、40歳未満でBMI25以上のメタボリックシンドローム予備群を対象に行います。期間は8月24日(水)から12月7日(水)までの約4カ月で、①健康状態とリスクを知る②健康行動をおこす③成果を確認・継続する——の3フェイズで構成されます。

肥満解消のポイントとなる、食習慣の改善と運動習慣の獲得、継続に向けて、3回のセミナーを実施。体重、体脂肪率、BMI(体格指数)や筋肉や脂肪の状態を計測し、管理栄養士である健康カウンセラーと相談等を行い、チャレンジ目標を設定。その後、一人ひとりの目標達成へ向けて、二人三脚で取り組む計画です。効率的な運動となる独自のプログラム「ファンケルストレッチ」のレクチャーや目標達成に役立つサプリメントに関する情報提供なども実施予定です。

神奈川県下では初。さらに展開を拡大

「ファンケル健康増進プログラム」を神奈川県下の自治体において展開するのは初めてです。既に導入済みの東京都多摩市、さらに他の自治体でも導入が検討されています。当社では今後も、少子高齢化等で労働人口が減少する中、具体的な形で従業員の健康管理を求めるニーズに対応したこのプログラムを積極的に提案していきます。